「野生生物と社会」原稿の書き方　（2026 年 10 月 15 日）

書式：

原稿は縦長 A4 判用紙横書きとし，原則として Word などのソフトウェアを用いて作成する．1 行 25 字，1 ページ 30 行とし，上下に約 3cm，左右に約 4cm の余白をとる．フォントは MS 明朝体，英数字は Times New Roman とし，サイズは 10.5 とする．句読点は全角の「,」と「.」とする．原稿には，各ページ下部中央に第 1 ページから最終ページまで連続したページ番号をつける．また原稿の左側に 5 行毎に第 1 ページから連続した行番号を入れる．

原稿は 1 ページ目に，表題，著者名（筆頭著者名・第 2 著者名・...），著者所属を書く．その下に，責任著者（コレスポンディングオーサー）の氏名と連絡先 E メールアドレスを書く．

2 ページ目に英文で，title，authors（first author, second author, ...）, affiliation を書く．その下に, corresponding author と email address を書く．

著者の所属が 1 つの場合，右肩に数字はつけない．現所属が変更している場合には，1 ページ目（和文）と 2 ページ目（英文）の著者名の右肩にアスタリスクをつけ，新所属を脚注として, それぞれ 1 ページ目と 2 ページ目の下段に配置する．

例：野生太郎[1*]・社会花子[2]

[1]野生大学

[2]NPO 法人野生生物と社会

[*]現所属　　野生研究所

なお, 複数の著者が論文に同等の貢献をしたことを明記する場合は，著者名の右肩にセクション（§）をつけて，その旨を記載する．

3 ページ目に，英文要約（abstract）とキーワード（5 語以内，英単語，アルファベット順）を書く．事例報告およびデータペーパーにおいては和文の要約でもよい. 要約のなかに略号や頭文字語（acronym）を用いないこと．

4 ページ目以降から本文, 注, 引用文献, 表, 図の表題, 図の順に配列する．謝辞があれば，本文の末尾に書く．助成金などを明記したい場合には，謝辞のなかに含める．

区分け：

材料・方法・調査地，結果，考察などを区分けする中見出しは，上下の 1 行を空けて，下に波線をつけて中央に配置する．さらに細分する小見出しは上の 1 行を空けて，同様に波線をつけて左寄せとする．

注：

本文への注は，本文該当箇所の右肩に通し番号を（1），（2），（3）のように記し，本文と引用文献の間に一括して掲載する．

学名：

動植物名は初出の際に, 和名に続けて括弧内に学名をつける. 学名は下線を引いてイタリック指定にする. 民俗学・民族学などの分野で地方名（vernacular name）や特殊な生物名を表記する場合にはこの限りではないが, なるべく学名に比定できるようにするのが望ましい．

イタリック：

本文中では, 原則として学名以外はイタリック指定をしない．SD，SE，p，n（サンプル数），et al.などもイタリックとしない．

人名：

アルファベット表記の人名は第 1 文字のみを大文字とし，ロシア語，タイ語などの人名は，標準的な方式にしたがってアルファベット表記にする. 中国語の簡体字表記などは日本で用いられている漢字を用いる．

文献の引用：

引用は，原則として公表されたものから行う．本文中の引用は「鈴木・田中（1971）によれば・・・」，「・・・明らかにした（足立ほか 1980）」，「・・・研究がある（Hoffman and Taber 1960, Geist 1970, Gray et al. 1975）」などとし，出版年の順にする．同一著者の引用を並べる場合も，「・・・報告されている（北山 2010，北山　2015）」

などとし，著者名を省略しない．

著者名が 3 名以上の場合は和文では「ほか」，英文では「et al.」と省略する．

印刷中の文献の引用は和文の場合は（印刷中），英文の場合は(in press)として記載し，投稿中のものは引用しない．

文献一覧：

著者と発行年の両方が明らかなものを引用文献に記載する．それ以外のものは注に記載する．

本文中で引用した文献はすべて列記し，引用していない文献は載せない．文献一覧はアルファベット順に配列し，筆頭著者が同じ場合には，単独著者の文献を発表年の古い順にはじめに置き，その下に複数著者の文献を第 2，第 3 の著者名のアルファベット順で続ける．

著者の姓または名が一文字の場合は，間に全角スペースを入れる．

すべて同一著者で同一年の場合は，本文中の引用順 に，発表年のあとに a，b，c をつけて区別する．著者が複数の場合，日本語表記の場合は「・」でつなぎ，アルファベット表記の場合は「,」「and」でつなぐ．

文献の配列は，以下の例にしたがう．

例：沼田　真（1982a）

沼田　真（1982b）

【同一著者の場合，−などで省略しない】

沼田　真・大沢雅彦（1980）

【発表年は上記論文より古いが，共著者がいるので後に配列する】

沼田　真・依田恭二（1975）

【発表年は上記論文より古いが，第 2 著者のアルファベット順で後に配列する】

田中政則・高橋誠一・大塚敬子（1986）

王　祖望（Wang Z.）・盛　和林（Sheng H.）

【中国語表記の場合，名前の直後にアルファベットの綴りをつけ，筆頭著者のアルファベット順に配列する】

文献は形式から（1）学会誌，（2）単行本，（3）論集のなかの章，（4）ウェブ情報，の引用に分けられる．和文・欧文を問わず，雑誌名は省略しない．また Ibid などの省略もしない．単行本で特定の箇所を引用する場合には，「単行本及び論集のなかの章」と同様に掲載ページを明記する．欧文雑誌名と欧文単行本書名は，下線を引いてイタリック指定する．（2）～（4）の資料名に関しては，和文はカギカッコ（「・・・」），欧文はダブルクォーテーション（”・・・”）を使う．ピリオドは，和文を「全角ピリオド」，欧文を「半角ピリオド+半角スペース」とする．

オンラインジャーナルにおいて掲載ページが存在せず論文識別用 ID（例：e00001）がある場合には，ページの代わりに ID を記載する．

文献一覧は以下の記載例にしたがう．

（1）　学会誌

著者名（発行年）表題．雑誌名 巻（号）：掲載ページ．

Authors (year) Title. *Journal title* volume (issue): pages.

藤本征司（1993）1977 年有珠山噴火後の森林植生 14 年間の推移―特に高木類の対応パターン．日本生態学会誌 43（1）：1-11.

Ohsawa, M., D. Suzuki and J. Kawano (1990) An interpretation of latitudinal patterns of forest limits in South and East Asian mountains. *Journal of Ecology* 78 (2) :326-339.

【英文誌の場合は，筆頭著者のみ family name を先に記載する】

松田裕之・矢原徹一・竹門康弘・波田善夫・長谷川真理子ほか（2005）自然再生事業指針．保全生態学研究 10：63-75.

Chapron, G., P. Kaczensky, J. D. C. Linnell, M. von Arx, D. Huber, et al. (2014) Recovery of large carnivores in Europe's modern human-dominated landscapes. *Science* 346: 1517.

【10 名を超える著者による文献は，最初の 5 名のみを記して本文中と同様に「ほか」あるいは「et al.」とする．】

（2） 単行本

著者名（発行年）「著書名」．発行所，発行所所在地．

【発行所所在地は，和文の場合は都道府県名を記載する】

Authors (year) "*Book Title*". Publisher, Place of publication.

畠山武道（1992）「アメリカの環境保護法」．北海道大学図書刊行会，北海道．

Leopold, A. (1933) "*Game Management*". Charles Scribner's Sons, New York.

（3） 単行本及び論集のなかの章

著者名（発行年）表題．「著書名」（編集者名），掲載ページ． 発行所，発行所所在地．

Authors (year) Chapter title. In *"Book Title*" (Editors), chapter pages. Publisher, Place of publication.

樋口広芳（1984）種分化と資源分割．「現代の鳥類学」（森岡弘之・中村登流・樋口広芳，編），pp.216-236．朝倉書店，東京．

Gray, A. J. (1991) Management of coastal communities. In "*The Scientific Management of Temperate Communities for Conservation*" (Eds. Spellerberg I. F., F. B. Goldsmith and M. G. Morris), pp.227-243. Blackwell Scientific Publications，Oxford.

（4） ウェブ情報

著者と発行年の明らかなものを引用文献に記載する．それ以外のものは注に記載する．

行政資料は，ウェブ情報の記載例にしたがって記載する．ただし，ウェブ公開されていない行政資料で入手可能なものは，（2）単行本の記載例にしたがって記載する．

著者名（発行年）「記事タイトル」（URL）xxxx 年 xx 月 xx 日確認．

Authors (year) "*title of web page*". (URL) Accessed yyyy-mm-dd.

農林水産省大臣官房統計部（2017）「平成 29 年度産麦類（子実用）の作付面積（全国）及び収穫量（都府県）」（ http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyo_kome/attach/pdf/index-33.pdf） 2017 年 11 月 6 日確認．

Alaska Department of Fish and Game (2017) "*2017 Commercial Salmon Harvest Summary*". (http://www.adfg.alasla.gov/index.cfm?adfg=pressrelease.pr10032017) Accessed 2017-11-06.

図：

図（写真を含む）は 1 点 1 枚とする．図は鮮明なもので，そのまま版下として使えるように，執筆者の責任で本文と分けて作成する．

既往の資料から作図した場合や既発表の図を引用あるいは転載する場合には，著作権法規あるいは利用規約等に則って行い，出典を明示する（例： Harper （1975）より作図．川村（1982）より．など）．

図を文書ファイル内に貼り付けて投稿する場合には，図のページにはそれぞれ右上端に著者名と図の番号を示す．1 点のみでも図 1．とする．図の表題は本文を読まなくても意味がわかるものとし，引用文献の後に別のページにまとめて記載する．投稿後に図のオリジナルファイルの提出を求める場合がある．

表：

表は 1 点 1 枚とし，表題もあわせて記載する．表題は本文を読まなくても意味がわかるものとする．表は横線のみとする．1 点のみでも表 1. とする．表を表計算ソフト（MS Excel 等）で作成した場合には，受理後にオリジナルファイルを提出する．

単位：

単位はメートル法とする．民俗学・民族学などの分野で尺貫法など，それ以外の表現を必要とする場合にはこの限りではないが，メートル法に比定できるようにするのが望ましい．

文章作成における生成系 AI 等の AI ツールの取り扱い：

生成系 AI 等の AI ツールを用いて学術論文の要旨（英文のグラマーチェックを含む），文書，図表，画像等を作成することは，著作権や剽窃など研究倫理にかかわる問題を発生する可能性が指摘されている（※）．そのため，原稿作成のすべて，あるいは一部において生成系 AI を用いた原稿を投稿する場合には，方法の最後にその利用個所や利用方法を明記する．なお，原稿作成に生成系 AI を用いることを一律に禁止するものではないが，使用方法の説明が不十分な場合には審査に影響を及ぼすことがある．

生成系 AI を用いた場合の説明の例を以下に示す．

例：本論文の執筆において，和文本文の推敲および英文 Abstract のグラマーチェックのため○○○（××社，URL，●●年×月▲日確認）を用いた．AI による推敲およびグラマーチェックを経た原稿は，投稿前にすべての内容を著者の責任において確認した．

※https://publicationethics.org/cope-position-statements/ai-author

データペーパーにおける電子ファイル（データセット）：

データペーパーの対応電子ファイルは以下の通り．

	拡張子	種別	MIME タイプ
1	asc	文書	text/plain
2	dvi	文書	application/x-dvi
3	htm	文書	text/html
4	html	文書	text/html
5	latex	文書	application/x-latex
6	pdf	文書	application/pdf
7	rtf	文書	application/rtf
8	rtx	文書	text/richtext
9	sgm	文書	text/sgml
10	sgml	文書	text/sgml
11	tex	文書	application/x-tex
12	texi	文書	application/x-texinfo
13	texinfo	文書	application/x-texinfo
14	txt	文書	text/plain
15	xml	文書	application/xml
16	csv	文書	text/csv
17	bmp	画像	image/bmp
18	gif	画像	image/gif
19	jpe	画像	image/jpeg
20	jpeg	画像	image/jpeg
21	jpg	画像	image/jpeg
22	rgb	画像	image/x-rgb
23	tif	画像	image/tiff
24	tiff	画像	image/tiff
25	xbm	画像	image/x-xbitmap
26	xwd	画像	image/x-xwindowdump
27	aif	音声	audio/x-aiff
28	aifc	音声	audio/x-aiff
29	aiff	音声	audio/x-aiff
30	au	音声	audio/basic
31	kar	音声	audio/midi
32	mid	音声	audio/midi
33	midi	音声	audio/midi
34	mp2	音声	audio/mpeg
35	mp3	音声	audio/mpeg
36	mpga	音声	audio/mpeg
37	ra	音声	audio/x-realaudio
38	ram	音声	audio/x-pn-realaudio

39	rm	音声	audio/x-pn-realaudio
40	rpm	音声	audio/x-pn-realaudio-plugin
41	snd	音声	audio/basic
42	wav	音声	audio/x-wav
43	avi	動画像	video/x-msvideo
44	iges	動画像	model/iges
45	igs	動画像	model/iges
46	mesh	動画像	model/mesh
47	mov	動画像	video/quicktime
48	movie	動画像	video/x-sgi-movie
49	mp4	動画像	video/mp4
50	mpe	動画像	video/mpeg
51	mpeg	動画像	video/mpeg
52	mpg	動画像	video/mpeg
53	msh	動画像	model/mesh
54	qt	動画像	video/quicktime
55	silo	動画像	model/mesh
56	vrml	動画像	model/vrml
57	wmv	動画像	video/x-ms-wmv
58	wrl	動画像	model/vrml
59	Z	書庫	application/x-compress
60	cpio	書庫	application/x-cpio
61	gtar	書庫	application/x-gtar
62	gz	書庫	application/x-gzip
63	lzh	書庫	application/octet-stream
64	tar	書庫	application/x-tar
65	zip	書庫	application/zip